



結核について

結核というと昔の病気而今となつては珍しい病気と思う方が多いと思います。しかし日本は先進国の中ではまだまだ結核まん延国です。日本全国の新登録結核患者数は平成22年で23,261人でした。結核菌に感染している人（発病はしていない）は高齢者になるほど多く、80歳代では2人に1人の割合で感染していると推測されています。

結核は決して珍しい病気ではありません。結核菌に感染していても約90%の人は発病することなく寿命をむかえます。約5%の人は感染して3年のうちに発病し（一次結核）、約5%の人は数年から数十年後に自分の体力が低下した時に結核菌が目覚めて発病します（二次結核）。結核は咳などで飛んだしぶき（飛沫）から水分が蒸発し（飛沫核）、結核菌が空気中を漂ってそれを吸入することで人から人へ感染します。発病すると熱や咳などの症状が出現します。結核の診断には喀痰検査や胸部レントゲンが重要です。もし咳や熱が長引いているような時は、結核も忘れてはいけない病気と言えます。

で・き・ご・と

集落の孤立を想定、大間警察署が「けが人搬送訓練」

6月22日(金)、強い地震で集落が孤立したことを想定し、けが人を県警警備艇「みちのく」で佐井漁港から福浦漁港まで搬送する訓練が行われました。

当日は大間警察署員や大間町、風間浦村、佐井村の住民などで組織する大間警察署協議会会員など約20人が参加し、訓練を通じて防災意識の向上を図るとともに、災害時の対応確認がされました。



第27回佐井村国民健康保険ゲートボール大会

6月27日(水)、山村広場で高齢者の健康づくり推進を目的に、「第27回佐井村国民健康保険ゲートボール大会」が開催され、村内3チームと役場チームの計4チームが参加しました。

どのチームも日頃の成果を存分に発揮し、見事なスティックさばきで、会場は大いに盛り上がりました。

◆結果は次のとおりです。

優勝 あすなるチーム
(代表 上山 正)

準優勝 佐井港チーム
(代表 奥本算人)

第3位 寿会チーム
(代表 伊勢政幸)



※優勝したあすなるチームは8月25日(土)開催の第67回青森県民体育大会へ出場します。